

家蓄ニ一老狸奴（注1）。将レ誕ニ子ヲ矣。一女童誤レ触レ之ニ而墮ス。日夕（注2）鳴（注2）然（注2）。会（注2）有下餽ニ兩小狸奴ニ者上。其始（注4）蓋漠然（注3）不レ相能ニ也。老狸奴者（注3）、從而撫レ之（注4）、徬徨焉（注4）、躑躅焉（注4）。臥則擁レ之（注4）、行則翊レ之（注4）。舐ニ其（注5）、舐ニ而讓ニ之（注5）。食（注5）。兩小狸奴者（注5）、亦久而相忘（注5）也。稍即（注6）之（注6）、遂承ニ其乳（注6）焉。自是欣然（注6）、以為良己之母（注6）。老狸奴者（注6）、亦居然（注6）、以為良己出（注6）也。吁（注6）、亦異哉（注6）。

（程敏政『篁墩文集』による）

問 傍線部A「吁、亦異哉」とあるが、筆者がそのように述べる理由の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 子猫たちと出会った時は「嗚嗚然」としていた老猫が、「欣然」と子猫たちと戯れる姿を見せるようになったため。
- ② 互いに「漠然」として親子であることを忘れていた猫たちが、最後には「居然」と本来の関係をとりもどしたため。
- ③ 老猫と出会った初めは「漠然」としていた子猫たちが、ついには「欣然」と老猫のことを慕うようになったため。
- ④ 子猫たちが「居然」として老猫になつき、老猫も「嗚嗚然」とる深い悲しみを乗り越えることができたため。
- ⑤ 子猫たちが「欣然」と戯れる一方で、老猫は「居然」とるさまを装いながらも深い悲しみを隠しきれずにいるため。

- （注）
- 1 狸奴——猫。
 - 2 嗚嗚然——泣き悲しんで鳴くさま。
 - 3 漠然——無関心なさま。
 - 4 徬徨焉、躑躅焉——うろろうしたり足踏みをしたりして、落ち着かないさま。
 - 5 舐——うぶ毛。
 - 6 欣然——よろこぶさま。
 - 7 居然——やすらかなさま。

解 答